

2024年6月6日

アーカスプロジェクト 2024 いばらき

アーカス・リサーチ Summer
参加アーティスト決定

アーティストに限らずキュレーター、研究者など文化・芸術分野の実践者を対象とし、フィールドワークやリサーチにより重点を置く「アーカス・リサーチ Summer」の参加者5名がアーカススタジオで滞在制作に取り組みます。アーカス・リサーチは2022年度から開始した、国内外の幅広い世代のアーティスト、キュレーター、研究者、作家など文化・芸術分野の実践者や専門家を対象に、創造的な実験やフィールドワーク、リサーチのための時間と環境を提供する自己主導型の短期レジデンスプログラムです。東京の中心部から1時間、研究都市であるつくば市から30分の場所に位置する守谷市にあることで、日本のアートシーンやあらゆる領域の研究施設とつながりながら、落ち着いた環境で自らの創作に打ち込むことができます。

ぜひこの機会にご取材賜りたく、貴誌ならびに貴社情報媒体に掲載をしていただきたくお願い申し上げます。

アーカス・リサーチ Summer の特長

- ・ アートだけではなく、文学、演劇、音楽など、あらゆる創作ジャンルにおける表現者が対象。
- ・ 短期集中型で、今年度は各参加者が30日間、守谷市のアーカススタジオを拠点に活動。
- ・ 今年度の参加アーティストのテーマは、民間伝承や魔術、ジェンダー、庭園、潮や月の動き、都市計画などさまざま。またカナダの海辺の地域で芸術祭をつくるキュレーターも参加。滞在中、筑波山やつくば研究学園都市など茨城ならではの調査をするアーティストも参加。
- ・ アーカススタジオのオープン時には見学可能(オープンスタジオ(成果発表)はなし)。

参加アーティスト

6月-7月滞在 (30日間) レジデンス期間：2024年6月7日-7月6日



ローズ・ブティリエ Rose Bouthillier (カナダ)

カナダのニューファンドランド・ラブラドール州を拠点に、現代美術を専門とするキュレーターおよびライターとして活動。2022年からボナヴィスタ・ビエンナーレの芸術監督を務める。これまでにレミー・モダン(カナダ)やクリーブランド現代美術館(米国)でキュレーターを務め、CURAやBlackFlash、Foam Magazine、friezeなどに執筆。アーカスプロジェクトでは、海洋や海辺の生き方に関連する活動に取り組むアーティストをリサーチし、将来的なコラボレーションの可能性を探る。www.rosebouthillier.com



ドミニカ・ハリソン Dominica Harrison (ロシア/英国)

アーティスト、リサーチャー。民俗学や民間伝承、魔術、儀式などに関心を持ち、アニメーションやインスタレーション、パフォーマンスが交差する領域で制作している。アニメーション作品は多数の国際映画祭で紹介され、イングランド芸術評議会や英国アカデミー賞などで評価。アーカスプロジェクトでは、男女二柱の祖神が祀られている筑波山における神事や、日本の神道の伝統とイギリスの民間伝承を結びつける遺物について調査し、2つの文化間、または広く人間の歴史の儀式的な慣習の共通点を紐解き制作に繋げる予定。 www.nicaharrison.com

7月-8月滞在 (30日間) レジデンス期間: 2024年7月10日-8月8日



エリーヌ・デクラーク Eline De Clercq (ベルギー)

ジェンダー、レズビアンアイデンティティへの関心を背景にアートとエコロジーの領域において、アーティスト、ライター、研究者として活動。2022年よりアントワープ王立芸術学院の芸術研究員として、アカデミー内にコミュニティガーデンを作り、学生とともにエコフェミニズムの実践をとおして生態系の回復に取り組む。2019年からは、元修道院の庭の再生を通じて、脱植民地主義やクィアネス、エコフェミニズム、気候変動といったテーマと植物学を結びつけるプロジェクト「Gesamthof」を実践。アーカスプロジェクトでは、日本各地の庭園を訪れ、伝統的な園芸と現代の園芸の比較研究を行いエコロジーについての対話を深める予定。 www.elinedeclercq.com



アンジェリカ・オング Angelica Ong (シンガポール)

アーティスト。主に写真とアーティストブックをメディアとして用い、スローアートと言語に焦点をあて、儚いものや身体など、日常的な事象を題材とする。これまでに、マナ・コンテンポラリー（シカゴ）でのグループ展などに参加。オハイオ州立大学図書館やシカゴ美術館附属美術大学にあるアーティスト・ブック・コレクションに作品が収蔵されている。アーカスプロジェクトでは、アーティストブックの制作のために、潮の満ち引きと月の動きにまつわる時間の経験の調査、日本の俳句に関する文献の調査、月や潮の観察記録などをまとめ、波のフォトグラムを制作する予定。 www.angelicaong.art



撮影：Adriaan van der Ploeg

ミヒール・ハウヴェン Michiel Huijben (オランダ)

パフォーマンス、映像、リサーチ、執筆を通じて、建築デザイン、政治、社会の交点を考察する。美術と建築の理論から影響を受け、両分野の言語や美学を行き来する作品を制作している。特に 1950 年代以降の建築に興味を持ち、建築やその計画に組み込まれたイデオロギーに焦点をあてながら領域横断的なリサーチを行っている。これまでに、De Appel や Kunstinstituut Melly (オランダ)、Extra City Kunsthall (ベルギー)、Kunsthalle Basel (スイス)、Centre Culturel Suisse (フランス) といった美術館やアートセンターで発表している。アーカスプロジェクトでは、つくば研究学園都市を題材に都市計画とユートピア思想の関係について、インタビューや現地調査に取り組む予定。www.michielhuijben.nl/

主催：アーカスプロジェクト実行委員会

取材のお申し込み・お問合せ：アーカススタジオ (火-金 10:00 -18:00)

〒302 - 0101 茨城県守谷市板戸井 2418 もりや学びの里内 担当 | 恩田・藤本
TEL | 0297 - 46 - 2600 E-mail | arcus@arcus-project.com Web | www.arcus-project.com

【アーカスプロジェクト実行委員会】

茨城県政策企画部地域振興課 担当 | 吉田・堀江 TEL | 029-301-2678